

報道関係各位

2026 年 9 月 14 日  
大王製紙株式会社

## 大人用紙おむつ「アテント」が日本褥瘡学会学術集会と共催 アテント おむつの選定によるケアの質向上のセミナーを開催 「介護の快護化<sup>®</sup>」※<sup>1</sup>を目指しておむつに関連するスキントラブル事例をご紹介

衛生用紙製品 No.1 ブランド※<sup>2</sup> の「エリエール」を展開する大王製紙株式会社（本社：東京都千代田区）の大人用紙おむつ「アテント」は、2026 年 9 月 5 日（土）に開催された第 28 回日本褥瘡学会学術集会において、おむつの選定によるケアの質向上をテーマにハンズオンセミナーを共催しました。



ハンズオンセミナー当日の様子



登壇者のみなさま

### ■ハンズオンセミナーについて

大人用紙おむつ「アテント」は、これまで、介護する人・うける人、それを支えるご家族まで、「安心」で「快適」に「自己実現」できる排泄ケアをサポートするという「介護の快護化<sup>®</sup>」※<sup>1</sup> の考え方のもと、病院・介護施設職員さまの業務負担軽減に向けたセミナーの実施や、産学連携商品の開発に取り組んでまいりました。

このたび、褥瘡に関する研究・検討・啓発・教育活動を行うことを目的に活動する学術団体の日本褥瘡学会と共催で、病院・介護施設に勤務されている方が日々直面する、おむつのモレやスキントラブルに関するハンズオンセミナーを開催しました。

本セミナーでは、石川県立看護大学の真田弘美学長の司会のもと、東京大学の仲上豪二郎教授による専門講演を実施。さらに、皮膚・排泄ケア特定認定看護師から排泄ケアの質向上を目指した病院での取り組みをご紹介しました。当社「アテント」からは、紙おむつの構造や、共同研究成果を活用した紙おむつ（産学連携商品）などを説明し、おむつの吸収実験などを行いました。当日、病院や介護施設に勤務されている職員さま 79 名が参加され、おむつのあて方なども体験いただきました。

超高齢化社会である現代において、2040 年度には約 57 万人の介護職員が不足すると予測されており、一人ひとりの業務負担が増すとともに、排泄ケアの情報を入手する機会や時間が少ないという課題が生じています。※<sup>3</sup>「アテント」は、これからも介護する人・うける人双方の負担軽減に貢献できるよう、商品の開発やセミナーの実施などを通して、寄り添ってまいります。

※1:商標登録番号 第 6600998 号

※2:インテージ SRI+ ティッシュ市場、トイレトペーパー市場、キッチンペーパー市場、ペーパータオル市場の合算(2025 年 1 月～12 月 メーカー別売上金額)

※3:厚生労働省「介護人材確保の現状について」(2025 年 11 月) (<https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/001592637.pdf>) 1

## アテント おむつの選定によるケアの質向上のセミナー 概要

病院・介護施設などにお勤めの職員の方を対象に、おむつに関連するスキントラブルをテーマに、ハンズオンセミナーを開催しました。

【日時】 2026 年 9 月 5 日（土） 9:00～11:00

【対象】 病院・介護施設などにお勤めの職員

【場所】 ホテル日航奈良 5F 天空

【共催】 第 28 回日本褥瘡学会学術集会／大王製紙株式会社

【内容】

当社「アテント」にて、商品開発にもご協力いただいている、石川県立看護大学の真田弘美学長をお迎えしました。

真田弘美先生は、褥瘡・創傷ケア研究の第一人者として国内外で活躍し、2025 年 ICN(国際看護師協会) フローレンス・ナイチンゲールファンデーション・インターナショナル・アチーブメント・アワードを日本人で初めて受賞されるなど国内外の創傷ケアの発展に大きく貢献されています。



石川県立看護大学 真田弘美学長

＜講演①＞ 看護理工学による失禁関連皮膚炎の発生機序解明と予防法開発  
(東京大学大学院 医学系研究科 老年看護学／創傷看護学分野 仲上豪二郎教授)

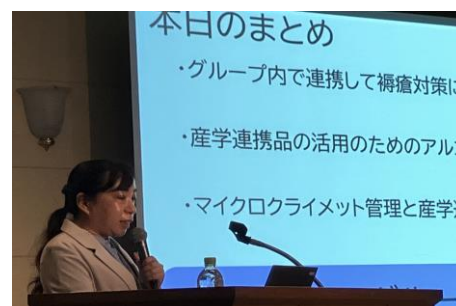
最新の基礎研究・臨床研究をもとに、IAD の発生メカニズムや効果的なスキンケア、排泄ケアのポイントについて解説いただきました。尿や便による皮膚バリア機能の低下、浸軟、細菌や消化酵素の影響など IAD 発生の要因を紹介するとともに、「洗浄・保湿・保護・収集」の重要性や、排泄ケア商品の開発や考え方についてご説明いただきました。



東京大学大学院 仲上豪二郎教授

＜講演②＞ 徳洲会グループの褥瘡対策連携活動と当院の予防ラウンドにおける産学連携品の活用事例  
(医療法人徳洲会 鎌ヶ谷総合病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 磯辺さやか先生)

鎌ヶ谷総合病院では多職種による褥瘡予防・褥瘡治療ラウンドを定期実施しており、その結果、褥瘡発生率が低下したことをご紹介いただきました。また、『アテント S ケア 前側吸収 おしりさらさらパッド』をはじめとした産学連携商品を用いた活用事例を皮膚写真とともにご紹介いただきました。



鎌ヶ谷総合病院 磯辺さやか先生

### <講演③> 排泄ケアの質向上を目指した取り組み

(JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 岐北厚生病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 濱田美保先生)

排泄ケアの現状と課題をご説明後、患者さまと職員さまが双方にやさしいケアができるように、ケアの質向上を目的とした病院内での取り組みをご紹介します。また、『アテント S ケア 前側吸収 おしりさらさらパッド』の活用事例や『アテント S ケア 軟便安心パッド』のご使用者ご自身のコメントもご紹介いただきました。



岐北厚生病院 濱田美保先生

### <講演④> 産学連携の歩み、おむつの構造説明、吸収実験、おむつのあて方レクチャー

(大王製紙株式会社 ヘルスケア・ブランドマーケティング部 杉山 渉、ヘルスケア商品開発部 小山 英俊)

大人用おむつ「アテント」がめざしている「介護の快護化®」※<sup>1</sup> の考え方や商品開発の歩みをご紹介後、吸収実験やおむつのあて方レクチャーを実施しました。



おむつの吸収実験

## セミナーに参加いただいた講師のみなさまからのコメント

### ■石川県立看護大学 学長、東京大学 名誉教授 真田弘美 先生 コメント

高齢の患者さんの中には、下痢便による皮膚トラブルや痛みがあっても、そのつらさをご自分で十分に伝えられない方が少なくありません。一方で、看護師も患者さんの苦痛を少しでも軽減したいという思いを抱えながら、日々ケアに向き合っています。私は、患者さんと看護師双方の尊厳を守る排泄ケアを実現したいと考えてきました。当時、便に対応できる製品が十分になく、各地の講演で「便対応のおむつを作ってほしい」と訴えていた中で、その声に真摯に応えてくださったのが大王製紙社員の皆さんでした。「患者さんも Win、看護師も Win、企業も Win」となるよう、産学連携のエビデンスに基づいた信頼できる製品開発にこれからも取り組んで参ります。



### ■東京大学大学院 医学系研究科 老年看護学／創傷看護学分野 仲上豪二郎教授 コメント

失禁関連皮膚炎は、皮膚の浸軟に排泄物中の消化酵素や細菌が加わって発生することが明らかになってきました。本セミナーでは、この発生機序と予防の考え方をお話しし、研究成果をもとに大王製紙と共同開発したパッドのあて方や吸収実験を参加者の皆様に体験いただきました。正しい知識に基づいておむつを選定し、適切に使用し、スキンケアを行えば IAD の発生確率を下げる事が可能です。本セミナーが排泄ケアの質向上と、看護・介護をうける方・する方双方の負担軽減につながることを願っています。





## ■医療法人徳洲会 鎌ヶ谷総合病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 磯辺さやか先生 コメント

今回の講演では、徳洲会グループ病院間での褥瘡ケアの連携活動や、当院で実践している褥瘡予防ラウンドに加え、産学連携品を活用した事例について紹介しました。会場では、多くの参加者が熱心に耳を傾け下さり、より良い褥瘡ケアを学ぼうとする姿勢に触れ、大きな刺激と感動をいただきました。今回の講演を通して、施設や立場を越えて実践を共有し、学び合うことの大切さを改めて実感しました。今後も専門性を活かし、褥瘡予防とケアの質向上に努めていきたいと思います。



## ■JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 岐北厚生病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 濱田美保先生 コメント

排泄ケアは一人の人として大切にされなければならない「尊厳」にかかわる重要なケアです。患者とケアする職員双方の尊厳に目を向けることが、排泄ケアの質向上につながると捉え取り組みました。個々の排泄状況をアセスメントし、適切なおむつとケア方法を実践すること、排泄ケアにおける尊厳についてスタッフ一人ひとりが考える機会を設け、適切なケアを実践できる仕組みを整えました。質の高い排泄ケアを追求することは患者・職員の双方の尊厳を守るだけでなく、結果として業務の効率化や組織の資源を有効に活用することにつながります。



### セミナー内でご紹介したアテントの産学連携商品

#### ①『アテント Sケア 前側吸収 おしりさらさらパッド』

- ・共同研究成果を活用して開発した、テープ止めタイプ用の尿とりパッド。
- ・排尿口付近の前側吸収ゾーンで尿を吸収。スキントラブルが発生しやすいおしり側に尿が付着することに着目した設計で、おしり側（尾骨・仙骨部）に尿が流れにくい。
- ・「おしり超うすゾーン」でおしり側へ体圧がかかりにくい。
- ・2種類の「あて方マーク」でテープ止めタイプの紙おむつに簡単に装着。

【公式 HP】 [https://www.elleair.jp/product/detail/attento-biz\\_20\\_0021](https://www.elleair.jp/product/detail/attento-biz_20_0021)



#### ②『アテント Sケア 軟便安心パッド』

- ・共同研究成果を活用して開発した、「軟便・水様便」の吸収にすぐれたテープ止めタイプ用の尿とりパッド。
- ・独自の3層構造（表面シート・ろ過シート・吸収体）を採用し、網目状の表面シートで目詰まりを起こさずに3層目まで軟便（尿・便）を吸収。
- ・通気性バックシート採用でおむつ内のムレを低減。
- ・滑らかな表面シート採用で摩擦を低減。

【公式 HP】 [https://www.elleair.jp/product/detail/attento-biz\\_20\\_0022](https://www.elleair.jp/product/detail/attento-biz_20_0022)



## 【参考情報】日本睡眠環境学会の学会誌「睡眠と環境」・J-STAGE に解説論文を掲載

「アテント」は、一般社団法人 日本睡眠環境学会学会誌「睡眠と環境」（第 20 巻 1 号）に、「夜間排泄ケアの改善が支える尊厳— 人生 100 年時代を幸福に生きる—」をテーマとした解説論文を発表しました。本論文では、2026 年 1～2 月実施の全国の病院・介護施設を対象とした調査結果をもとに夜間排泄ケアの現状と課題について解説しています。「アテント」は、学術面においても、「介護の快護化®」※<sup>1</sup>を推進しています。

J-STAGE URL : [https://doi.org/10.60259/jsleepenvi.20.1\\_42](https://doi.org/10.60259/jsleepenvi.20.1_42)

※J-STAGE は、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が運営する日本最大級の学術論文公開プラットフォームです。

大王グループは、経営理念である『世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ』の実現に向け、「衛生：人々の健康を守ること」「人生：人生の質を向上させること」「再生：地球を再生すること」を成し遂げるという「3つの生きる」をビジョンに掲げ、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。「アテント」ブランドの商品開発、販売、「介護の快護化®」の取り組みにより、「3.すべての人に健康と福祉を」「4.質の高い教育をみんなに」「8.働きがいも経済成長も」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献することを目指します。今後も、商品やサービスを通じて、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

## 「エリエール」について

「エリエール」は、1979 年にティッシュおよびトイレットペーパーの製造・販売を開始しました。

“やさしさを『カタチ』にする”という想いのもと、『ものづくり』や『社会への取り組み』を通して、やさしい未来の実現を目指しています。

現在では、「エリエール」を傘ブランドに、シェア No.1\*を誇るトイレットペーパーや

ティッシュ、キッチンペーパーのほか、生理用品「エリス」、吸水ケア用品「ナチュラ」、

ベビー用紙おむつ「グリーン」、大人用紙おむつ「アテント」、拭き掃除用品「キレキラ!」、

身の回りの除菌に活躍する「除菌できるシリーズ」、高機能マスク「エリエールマスク」、ペット用品「キミおmoi」など、誕生から介護まで日々の暮らしにそっと寄り添うブランドを多数展開し、高品質な商品をお届けしています。



\*：2025 年 1～12 月 インターゲ SRI+ ティッシュ市場／トイレット市場／キッチンペーパー市場 シリーズ計 累計販売金額